

「おいしが うれしが」キャンペーンおよび「環境こだわり農産物」の認知度についてのアンケート結果

県では、地域で生産されたものを地域で消費する“地産地消”を推進する「おいしが うれしが」キャンペーンや、農薬・化学肥料の使用量を減らし、琵琶湖などの周辺環境に配慮した栽培を実践する「環境こだわり農業」の推進に取り組んでいるところです。

県民のみなさまの、地産地消や環境こだわり農業に対する意識等を把握し、今後さらに生産者・販売者等を応援して、これらの取組を広げていくことを目的としてアンケートを実施しました。

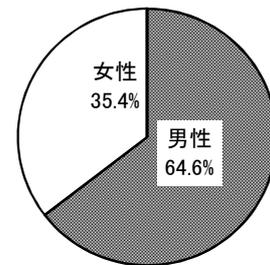
- ★調査時期 : 平成27年10月
- ★対象者 : 県政モニター 397人
- ★回答数 : 336人 (回収率 84.6%)
- ★担当課 : 食のブランド推進課

※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります

【属性】

◆ 性別・年代

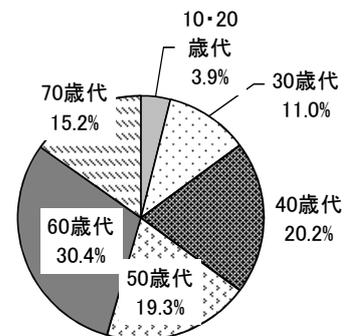
	男性	女性	計	割合
10・20歳代	6	7	13	3.9%
30歳代	10	27	37	11.0%
40歳代	32	36	68	20.2%
50歳代	33	32	65	19.3%
60歳代	86	16	102	30.4%
70歳以上	50	1	51	15.2%
計	217	119	336	100.0%
割合	64.6%	35.4%	100.0%	



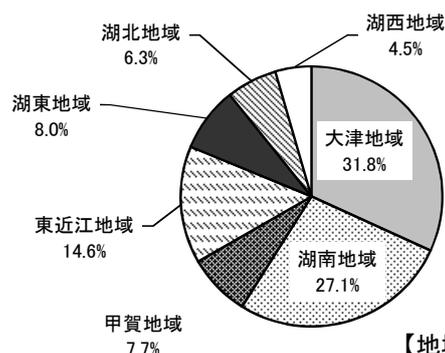
【性別】

◆ 地域

	男性	女性	計	割合
大津地域	72	35	107	31.8%
湖南地域	58	33	91	27.1%
甲賀地域	19	7	26	7.7%
東近江地域	29	20	49	14.6%
湖東地域	14	13	27	8.0%
湖北地域	14	7	21	6.3%
湖西地域	11	4	15	4.5%
計	217	119	336	100.0%



【年齢別】



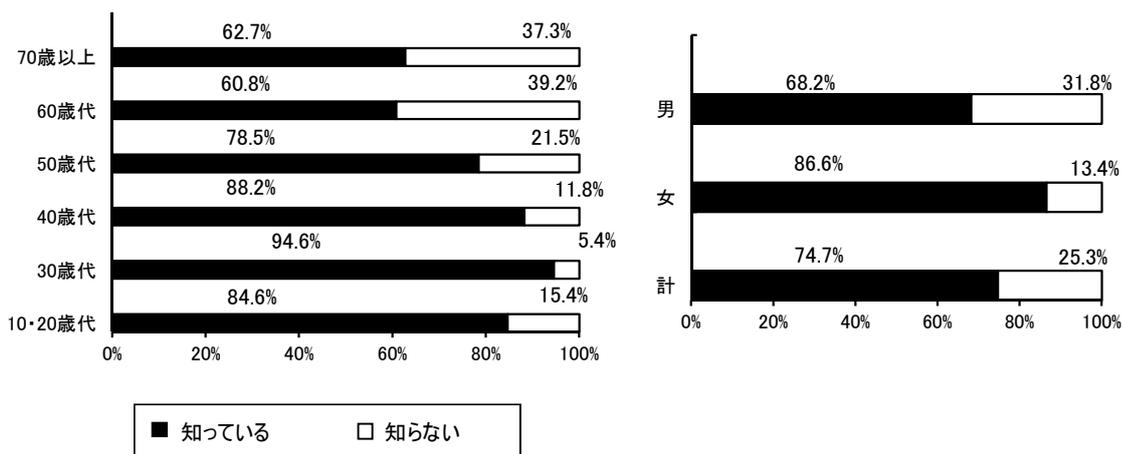
【地域別】

◆「おいしがうれしが」キャンペーン※1について

※1 県内の飲食店や小売店等が滋賀県産の農畜水産物を積極的に県民の皆さまに提供するなどの地産地消の取組

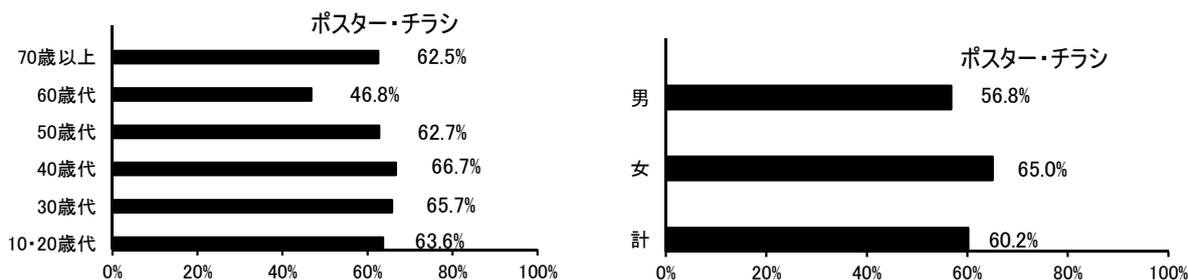
【問1】	あなたは「おいしがうれしが」キャンペーンを知っていますか。(回答は1つだけ。n=336)
【回答】	1. 知っている 2. 知らない

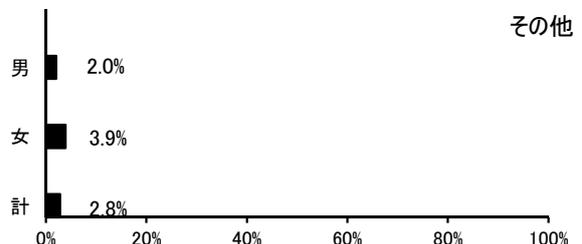
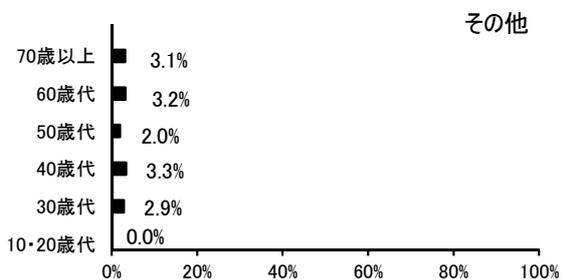
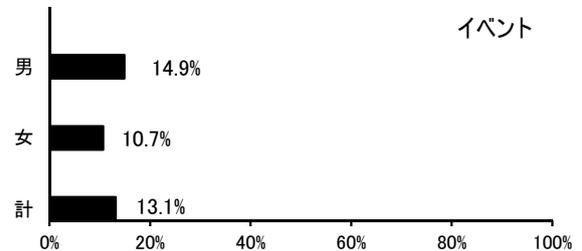
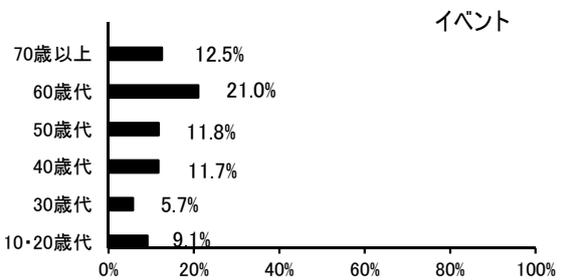
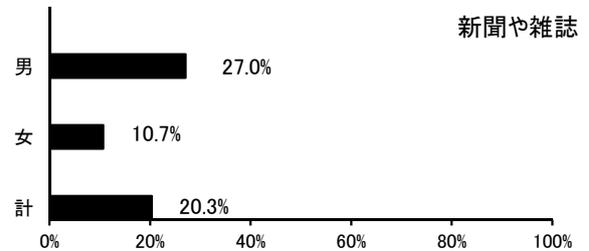
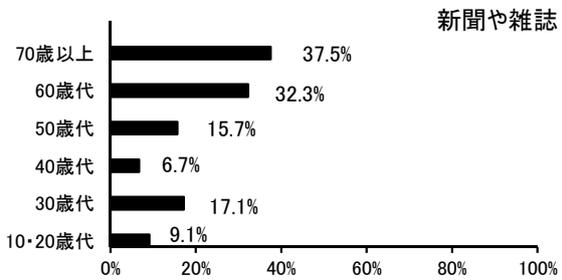
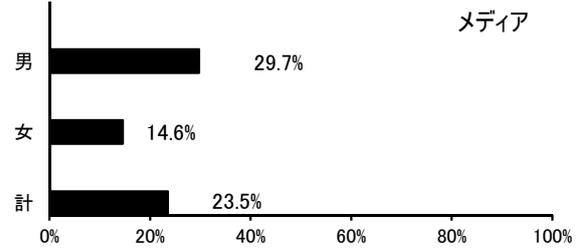
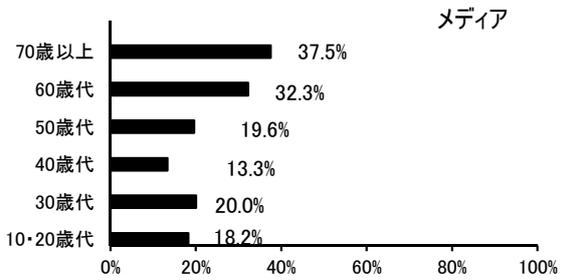
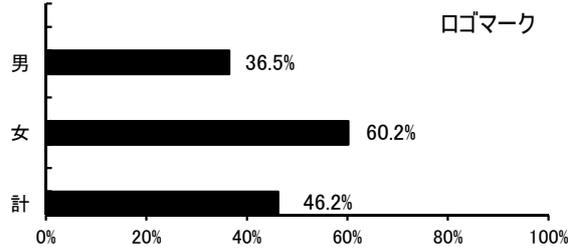
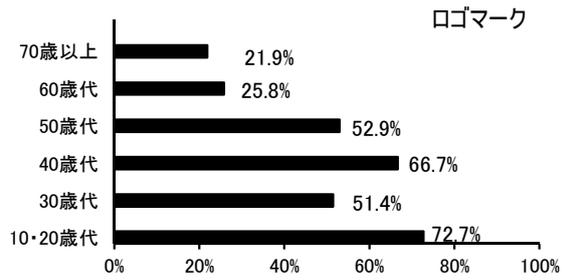
	年 代 別						男 女 別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	11	35	60	51	62	32	148	103	251	74.7%
2.	2	2	8	14	40	19	69	16	85	25.3%
計	13	37	68	65	102	51	217	119	336	100.0%



【問2】	問1で「1. 知っている」と回答された方におたずねします。「おいしがうれしが」キャンペーンの取組をどこで知りましたか。(回答は2つまで。n=251)
【回答】	1. お店等でのポスターやチラシ 2. 商品に貼ってあるロゴマーク 3. テレビやラジオなどのメディア 4. 新聞や雑誌などの記事や広告 5. 食に関するイベント 6. その他

	年 代 別						男 女 別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	7	23	40	32	29	20	84	67	151	60.2%
2.	8	18	40	27	16	7	54	62	116	46.2%
3.	2	7	8	10	20	12	44	15	59	23.5%
4.	1	6	4	8	20	12	40	11	51	20.3%
5.	1	2	7	6	13	4	22	11	33	13.1%
6.	0	1	2	1	2	1	3	4	7	2.8%

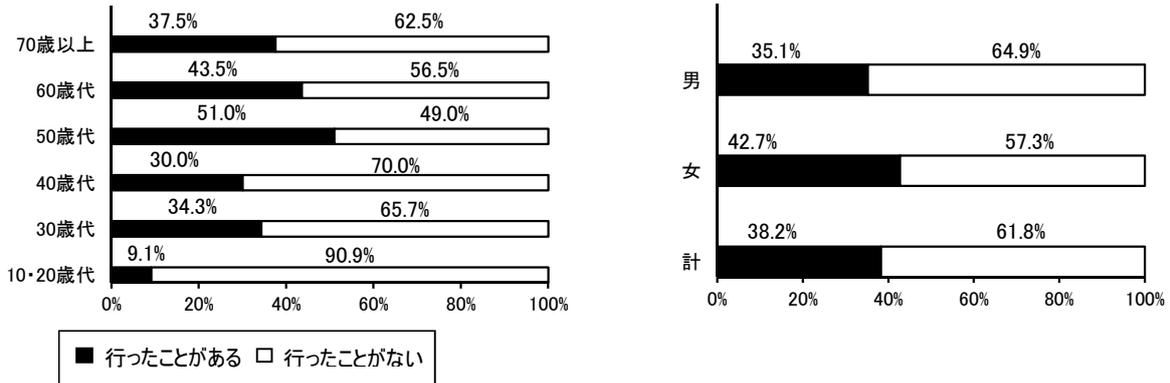




【問3】 問1で「1. 知っている」と回答された方におたずねします。
 あなたは「おいしがうれしが」キャンペーンのポスターやのぼりがある飲食店や小売店をキャンペーン推進店と認識して行ったことがありますか。(回答は1つだけ。n=251)

【回答】 1. 行ったことがある
 2. 行ったことがない

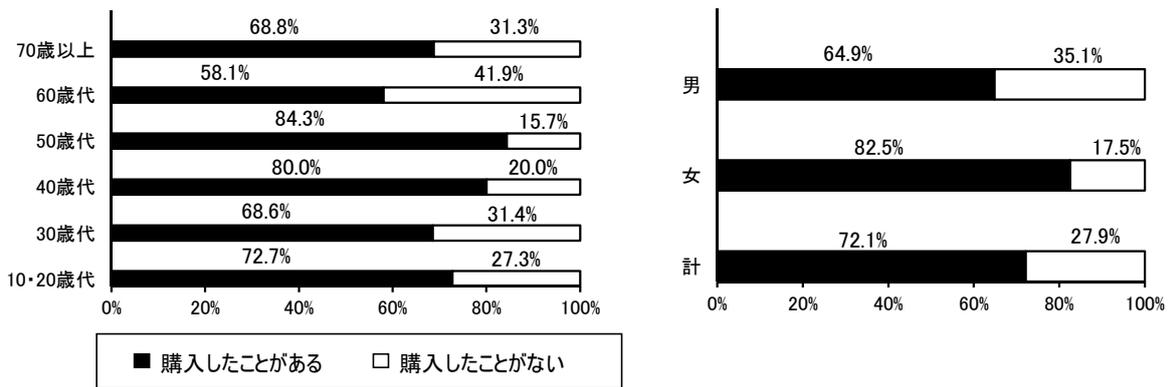
	年 代 別						男 女 別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	1	12	18	26	27	12	52	44	96	38.2%
2.	10	23	42	25	35	20	96	59	155	61.8%
計	11	35	60	51	62	32	148	103	251	100.0%



【問4】 問1で「1. 知っている」と回答された方におたずねします。
 あなたは「おいしがうれしが」キャンペーンのロゴマークの入った商品を購入したことがありますか。
 (回答は1つだけ。n=251)

【回答】 1. 購入したことがある
 2. 購入したことがない

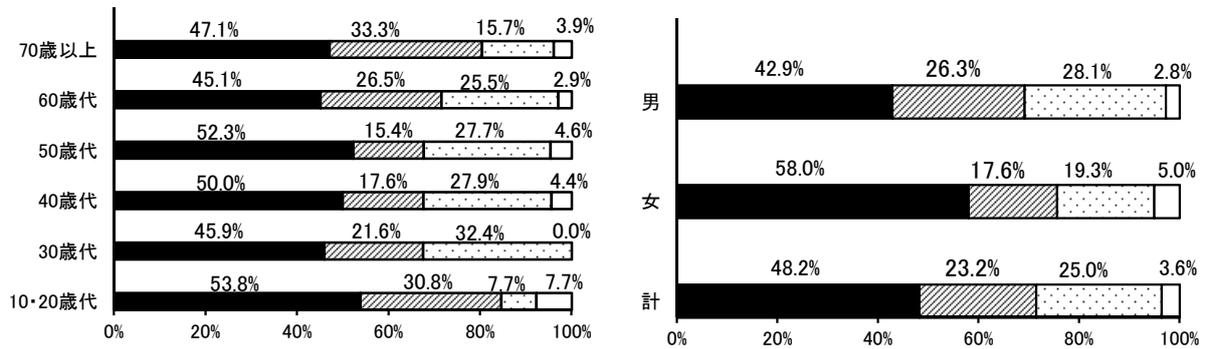
	年 代 別						男 女 別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	8	24	48	43	36	22	96	85	181	72.1%
2.	3	11	12	8	26	10	52	18	70	27.9%
計	11	35	60	51	62	32	148	103	251	100.0%



【問5】 あなたは、滋賀県産の農畜水産物やそれを使った料理や商品を、意識的に選んで食べたり、購入されたりしていますか。(回答は1つだけ。n=336)

- 【回答】
1. 商品があれば、できるだけ滋賀県産農畜水産物に関係のある商品を選んでいる
 2. 滋賀県産農畜水産物に限らず、有名産地の農畜水産物に関係のある商品を選ぶようにしている
 3. 特に産地で商品を選んでいない
 4. その他

	年 代 別						男 女 別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	7	17	34	34	46	24	93	69	162	48.2%
2.	4	8	12	10	27	17	57	21	78	23.2%
3.	1	12	19	18	26	8	61	23	84	25.0%
4.	1	0	3	3	3	2	6	6	12	3.6%
計	13	37	68	65	102	51	217	119	336	100.0%

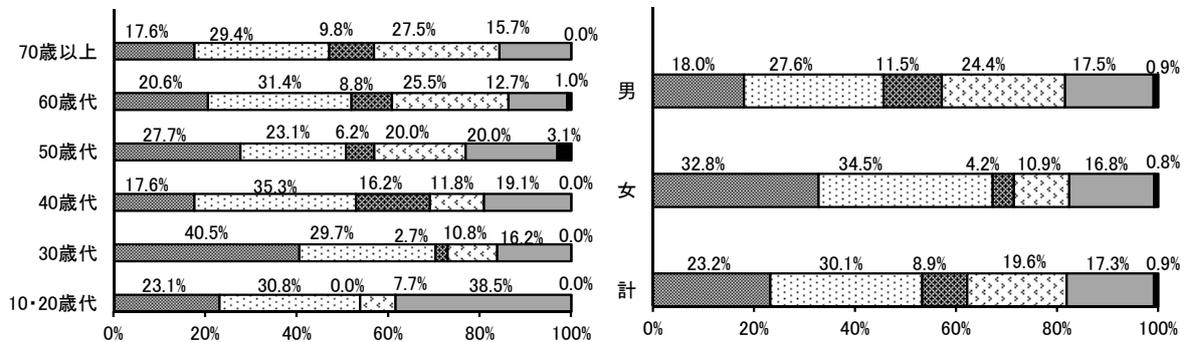


滋賀県産を選ぶ
 有名産地を選ぶ
 産地で選ばない
 その他

【問6】 「地産地消」の取組について、あなたが最もよいと思う点は何ですか？（回答は1つだけ。n=336）

- 【回答】
1. 近くで生産されているので、安心感がある
 2. 近くで生産されているので、商品が新鮮である
 3. 近くで生産されており、収穫物の搬送距離が短いので、環境に優しい
 4. 生産から消費までの活動が地域で完結するので、地域経済が活性化する
 5. 地元生産者を応援することにつながる
 6. その他

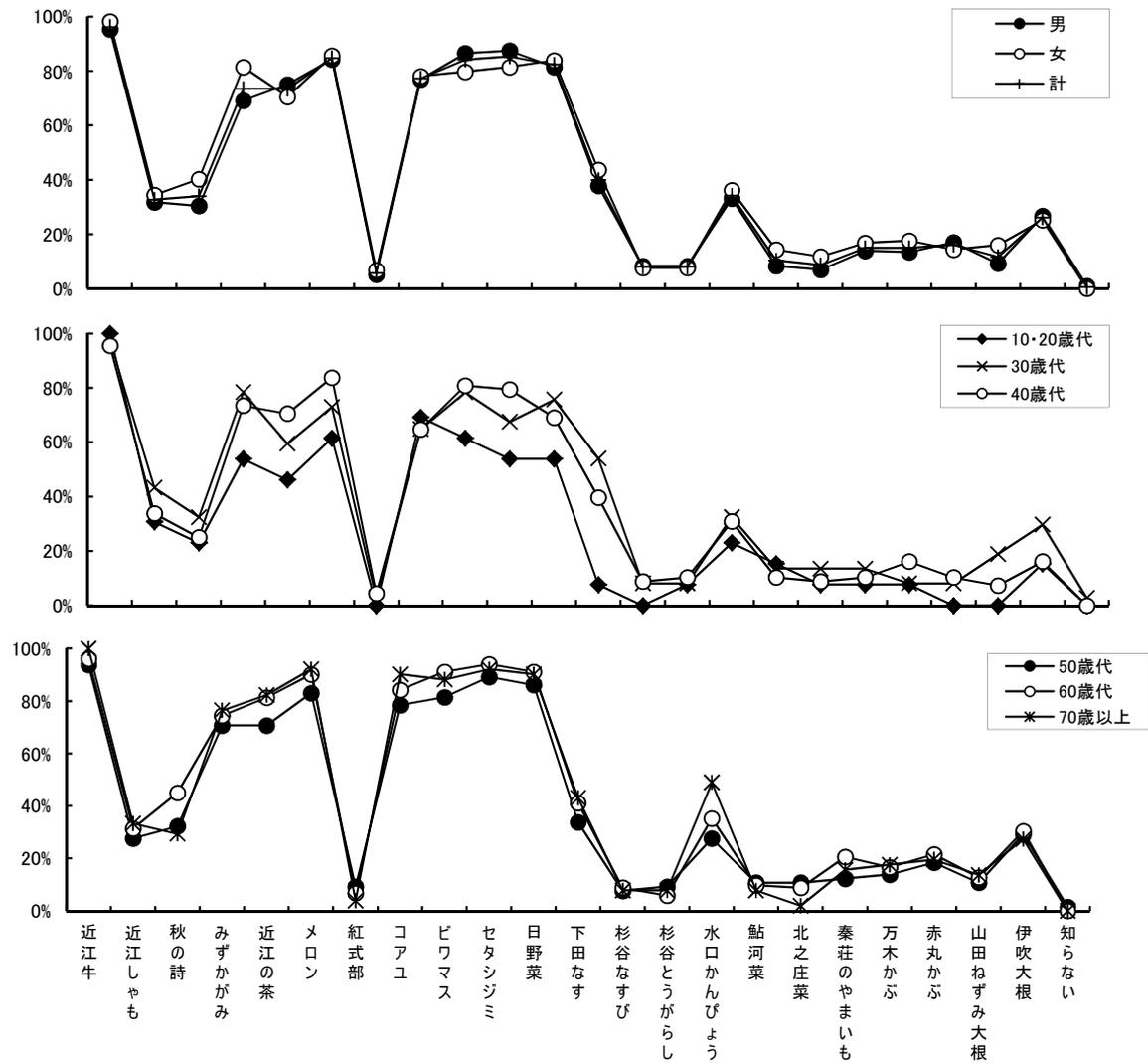
	年 代 別						男 女 別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	3	15	12	18	21	9	39	39	78	23.2%
2.	4	11	24	15	32	15	60	41	101	30.1%
3.	0	1	11	4	9	5	25	5	30	8.9%
4.	1	4	8	13	26	14	53	13	66	19.6%
5.	5	6	13	13	13	8	38	20	58	17.3%
6.	0	0	0	2	1	0	2	1	3	0.9%
計	13	37	68	65	102	51	217	119	336	100.0%



安心感がある
 商品が新鮮
 環境に優しい
 地域経済の活性化
 地元生産者の応援
 その他

【問7】	滋賀県には、県外でも有名な農産物もあれば、県内各地域で古くから親しまれている伝統野菜や琵琶湖でしか捕れない固有魚種もあります。 あなたの知っている滋賀県の農畜水産物すべてにチェックしてください。(回答はいくつでも。n=336)
【回答】	<ol style="list-style-type: none"> 1. 近江牛(滋賀で最も長く飼育された黒毛和種) 2. 近江しゃも(滋賀で開発された高級肉用鶏) 3. 秋の詩(滋賀育成の近江米品種) 4. みずかがみ(滋賀県育成の近江米新品種) 5. 近江の茶(土山茶、朝宮茶、政所茶など) 6. メロン(守山市、草津市、東近江市など) 7. 紅式部(基準を満たした赤系大粒ぶどう) 8. コアユ(琵琶湖特産の小型のアユ) 9. ビワマス(琵琶湖固有種) 10. セタシジミ(琵琶湖固有種) 11. 日野菜(日野町) 12. 下田なす(湖南市) 13. 杉谷なすび(甲賀市) 14. 杉谷とうがらし(甲賀市) 15. 水口かんぴょう(甲賀市) 16. 鮎河菜(甲賀市) 17. 北之庄菜(近江八幡市) 18. 秦荘のやまいも(愛荘町) 19. 万木かぶ(高島市) 20. 赤丸かぶ(米原市) 21. 山田ねずみ大根(草津市) 22. 伊吹大根(米原市) 23. 知らない

	年 代 別						男 女 別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	13	36	65	61	98	51	207	117	324	96.4%
2.	4	16	23	18	32	17	69	41	110	32.7%
3.	3	12	17	21	46	15	66	48	114	33.9%
4.	7	29	50	46	76	39	150	97	247	73.5%
5.	6	22	48	46	83	42	163	84	247	73.5%
6.	8	27	57	54	92	47	183	102	285	84.8%
7.	0	1	3	6	7	2	11	8	19	5.7%
8.	9	24	44	51	86	46	167	93	260	77.4%
9.	8	29	55	53	93	45	188	95	283	84.2%
10.	7	25	54	58	96	47	190	97	287	85.4%
11.	7	28	47	56	93	46	177	100	277	82.4%
12.	1	20	27	22	42	22	82	52	134	39.9%
13.	0	3	6	5	9	4	18	9	27	8.0%
14.	1	3	7	6	6	4	18	9	27	8.0%
15.	3	12	21	18	36	25	72	43	115	34.2%
16.	2	5	7	7	10	4	18	17	35	10.4%
17.	1	5	6	7	9	1	15	14	29	8.6%
18.	1	5	7	8	21	8	30	20	50	14.9%
19.	1	3	11	9	17	9	29	21	50	14.9%
20.	0	3	7	12	22	10	37	17	54	16.1%
21.	0	7	5	7	13	7	20	19	39	11.6%
22.	2	11	11	19	31	14	58	30	88	26.2%
23.	0	1	0	1	0	0	2	0	2	0.6%



【問8】 問7の食材など滋賀県特産の農畜水産物を使ったもので、ぜひ県外の人に食べてほしいと思う料理を自由にご記入ください。

■農産物

- ・ 近江米【おにぎり・餅】
- ・ 日野菜・赤かぶ・下田なす・万木かぶ・伊吹大根等【漬物】
- ・ 秦荘のやまいも【とろろご飯】
- ・ 水口かんびょう【手巻きすし】
- ・ 茶【茶がゆ・ソフトクリーム】

■畜産物

- ・ 近江牛【ステーキ・すき焼き・味噌漬】
- ・ 鴨【鴨鍋】
- ・ 近江シャモ【すき焼】

■水産物

- ・ コアユ【佃煮・姿寿司・昆布巻】
- ・ コイ【煮つけ・鯉コク・筒煮】
- ・ ゴリ【佃煮】
- ・ セタシジミ【炊き込みご飯・お味噌汁】
- ・ ビワマス【刺身・昆布巻・塩焼き・アメノイオご飯・燻製】
- ・ フナ【鮒ずし・鮒の子まぶし】
- ・ 湖魚を用いたおせち料理

■その他

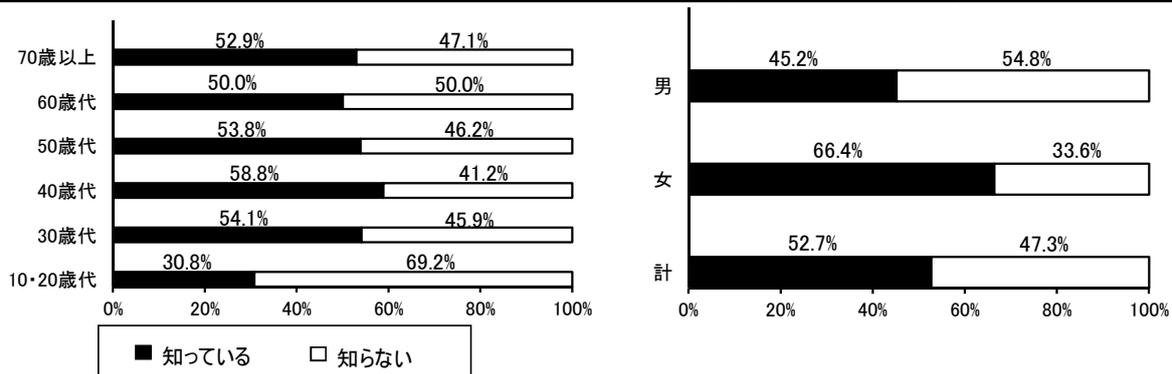
- ・ 地酒
- ・ 新鮮で適正な処理をされたイノシシやシカの料理
- ・ 丁稚羊羹
- ・ 赤こんにやく
- ・ 琵琶湖でとれる外来魚を用いた料理

◆「環境こだわり農産物」※2について

※2 農薬と化学肥料を通常の5割以下に減らし、琵琶湖をはじめとした環境に配慮した技術で生産され、認証マークをつけて販売されています

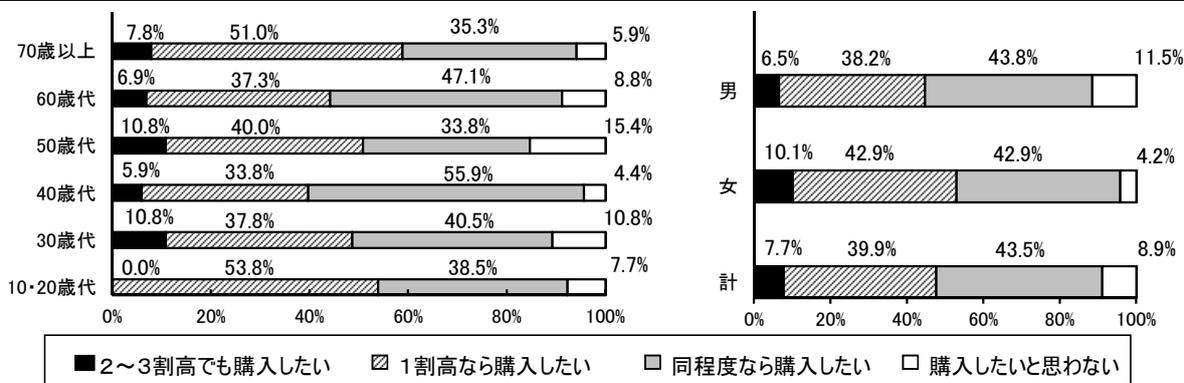
【問9】	あなたは、「環境こだわり農産物」を知っていますか。(回答は1つだけ。n=336)
【回答】	1. 知っている 2. 知らない

	年 代 別						男 女 別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	4	20	40	35	51	27	98	79	177	52.7%
2.	9	17	28	30	51	24	119	40	159	47.3%
計	13	37	68	65	102	51	217	119	336	100.0%



【問10】	あなたは、「環境こだわり農産物」を購入したいと思いますか。(回答は1つだけ。n=336)
【回答】	1. 普通の農産物に比べて価格が2割～3割高程度でも購入したい 2. 普通の農産物に比べて価格が1割高程度なら購入したい 3. 普通の農産物に比べて価格が同程度なら購入したい 4. 特に意識して購入したいと思わない

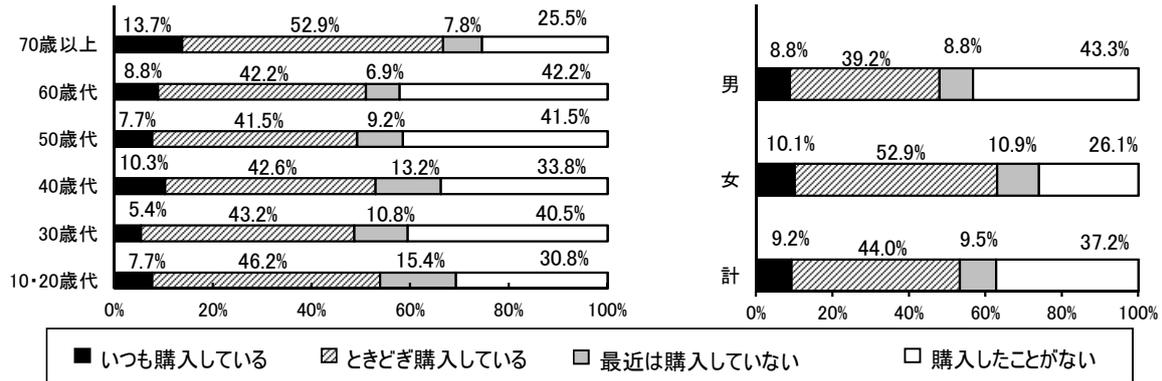
	年 代 別						男 女 別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	0	4	4	7	7	4	14	12	26	7.7%
2.	7	14	23	26	38	26	83	51	134	39.9%
3.	5	15	38	22	48	18	95	51	146	43.5%
4.	1	4	3	10	9	3	25	5	30	8.9%
計	13	37	68	65	102	51	217	119	336	100.0%



【問11】 あなたは普段、「環境こだわり農産物」を購入していますか。(回答は1つだけ。n=336)

- 【回答】
1. 商品があれば、いつも購入している
 2. 商品があれば、ときどき購入している
 3. 購入したことはあるが、最近では購入していない
 4. 購入したことがない

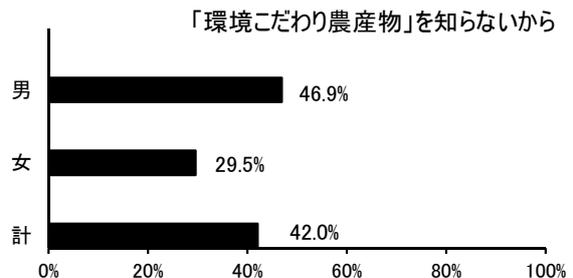
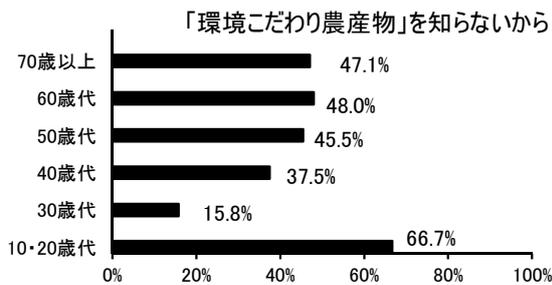
	年代別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	1	2	7	5	9	7	19	12	31	9.2%
2.	6	16	29	27	43	27	85	63	148	44.0%
3.	2	4	9	6	7	4	19	13	32	9.5%
4.	4	15	23	27	43	13	94	31	125	37.2%
計	13	37	68	65	102	51	217	119	336	100.0%

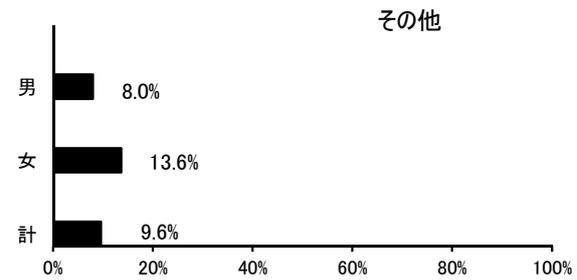
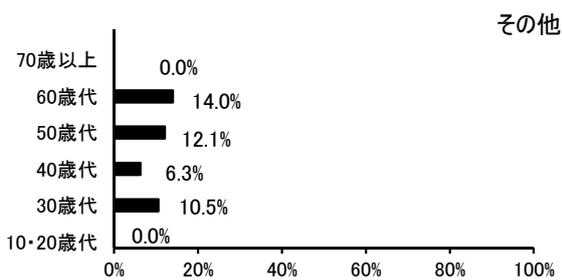
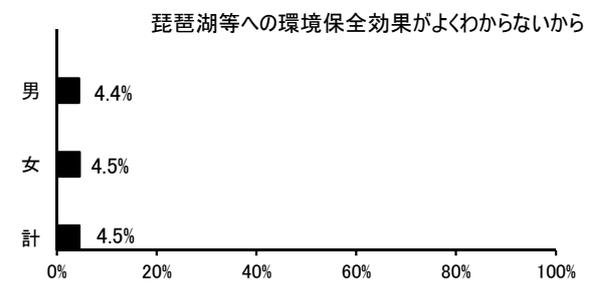
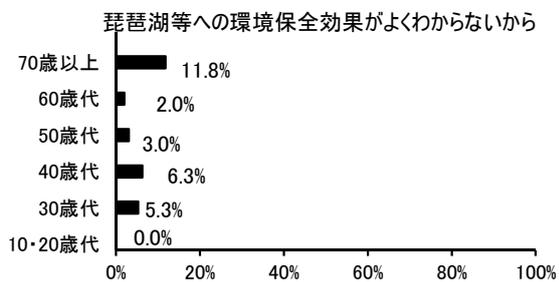
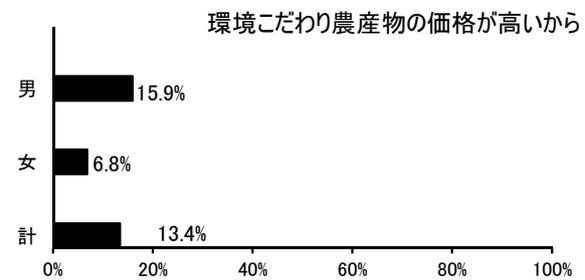
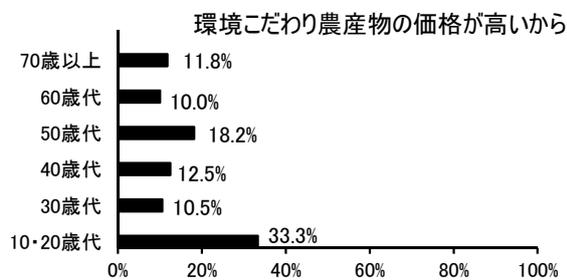
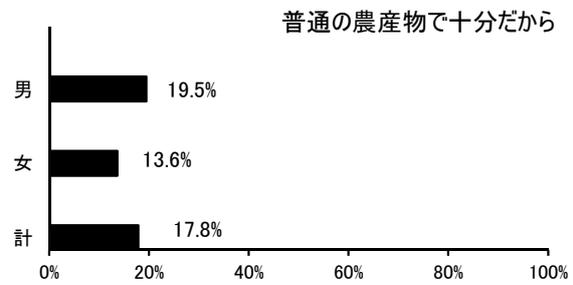
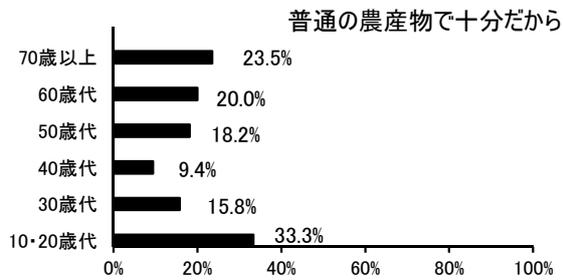
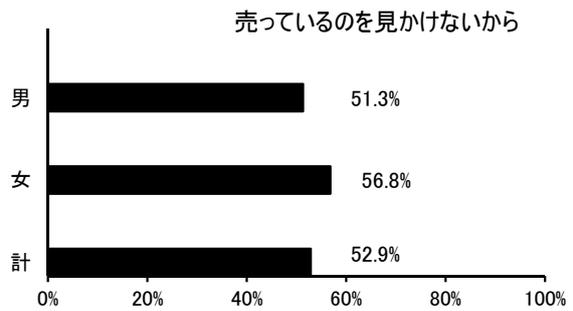
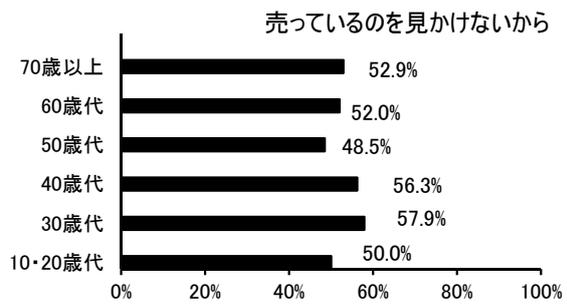


【問12】 問11で「3. 購入したことがあるが、最近では購入していない」または「4. 購入したことがない」と回答された方におたずねします。購入されない理由は何ですか。(回答は2つまで。n=157)

- 【回答】
1. 「環境こだわり農産物」を知らないから
 2. 売っているのを見かけないから
 3. 普通の農産物で十分だから
 4. 環境こだわり農産物の価格が高いから
 5. 琵琶湖等への環境保全効果がよくわからないから
 6. その他

	年代別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	4	3	12	15	24	8	53	13	66	42.0%
2.	3	11	18	16	26	9	58	25	83	52.9%
3.	2	3	3	6	10	4	22	6	28	17.8%
4.	2	2	4	6	5	2	18	3	21	13.4%
5.	0	1	2	1	1	2	5	2	7	4.5%
6.	0	2	2	4	7	0	9	6	15	9.6%





【問13】 その他、「おいしが うれしが」キャンペーン、「環境こだわり農産物」についてご意見がありましたら
お聞かせください。(抜粋)

◆「おいしが うれしが」キャンペーンについて

- ・おいしがうれしが。意味が分かりにくい。大事な言葉を、短縮したから、なんのこともわからない。
- ・このキャンペーン自体を知らなかった。もっと周知に努力してほしいと思う。
- ・地産地消により地域活性化につながると思うので県民一人一人意識を高めて行動すれば結果はついてくるとおもいます。
- ・「おいしが うれしが」のロゴはわかりやすく、目立つので、滋賀産のものを買いたいときには、助かります。実際、そのロゴを見て、選ぶ人も多いのではないかと思います。最近、スーパーでも、滋賀産のものを並べたコーナーがあるので、より買いやすくなりました。野菜はやはり他の産地のものより新鮮でおいしいと感じます。今後も、キャンペーンを続けていって欲しいと思っています。滋賀産でも、初めて見る野菜もあるので、おいしい料理の仕方を知れるのもっと助かります。野菜売り場にレシピ・料理の仕方が置かれているといいのではないかと思います。
- ・もっと小売業者とのタイアップで「おいしが、うれしが」のPRを進めるべきだと思います。
- ・お店でおいしがのマークのある商品を見かけると、親近感が湧き、つい手に取ってしまいます。野菜もですが、パンやスイーツ・菓子が好きなので、それらの商品が増えると嬉しいですね。
- ・県内に住んでいるのに知らない食べ物がたくさんありますが、「おいしがうれしが」のマークはパッと目につくので、これも地元の食べ物なんだと勉強になっています。自分の住む街を応援したいので、同じ商品が並んでいれば、別の産地のものよりも「おいしがうれしが」のマークがついているものを選んでいきます。もっといろんなものに広まってほしいです。
- ・特に意識して購入しているわけではないが、やはり地産地消を意識しているので、ふと思いたったら買うようにしている。もっと小学校の社会科授業などで子ども達に教えていけばいいと思います。

◆「環境こだわり農産物」について

- ・環境にこだわって作るとコストがかかってしまうが、美味しくおいしいものなら売れるのもっと付加価値をPRして売るのがいいと思います。琵琶湖への環境負荷軽減は滋賀県民なら無関心でいられない課題だと感じているので、強調するべきだと思う。
- ・安心できる食材として県内のみならず、県外にも滋賀の食材の良さをアピールしてほしい。
- ・農薬もただ量を減らした、ではなく、人への影響が懸念されるものを特に使用しない、などと中身に言及してほしい。種類を減らしたのか、量を減らしたのか、もわからず、もし「こだわり」に言及するならば、詳細を開示した方がよいと思います。
- ・びわ湖を守る！というコンセプトの取り組みを、もっとも県民が意識的にするべきだと思います。環境にやさしい、びわ湖をよごさない取り組みをされている農産物を県民が買うことによって、環境こだわり農産物を展開されている方々の輪が広がるのだと思います。いろんな情報網で、県の方から地場持参を呼びかけていっていただきたいです。
- ・「農業や化学肥料がら割以下」、「びわ湖・周辺環境への負荷軽減」が環境こだわり農産物 認定の基準になっていて、事例なども示されていますが、認定の理由の根拠や環境こだわり農産物の生産によってもたらされる利点について消費者が直接的にわかるよう、もっと強くアピールすべきではないでしょうか。
- ・環境こだわり農産物の取扱いが少ないためか、スーパー店頭で商品が並んでいないことがよくあるので、購入したくてもできない。もっと環境こだわり農産物の品揃えを充実してほしい。
- ・特別な食材、食べ物といった感じが強く、もっと日常的な身近な農産物になって欲しい。
- ・やはり、環境こだわり農産物は、少し価格が割高になると思います。価格が高いということは、消費者の心をつかめません。そこで、価格は高くても、安全、安心、おいしいは勿論、具体的なレシピを添えとか、ポイントカードのようなものを発行するとか、消費者の興味をひきつける付属的要素が必要だと思います。

◆共通

- ・おいしが と 環境こだわり農産物の違いがわかりにくい。
- ・県からのアピールは認められるものの、未だ県内での認知度が低いように感じる。購入されてこそその取り組みであると思うので、小売店等での積極的な販売を期待したい。
- ・余り県民には、認知度が低いように感じる。もっと積極的にPRすべきではないか。さらに県外に売り込むように工夫すべきである。
- ・今まではあまり意識していなかった。良い取り組みと思うので、極力経費を抑えてじっくりと長期に取り組んでほしい。